

# 各務原市まちづくり活動助成金

# 令和2年度交付事業報告集



令和3年度交付事業一覧も掲載しています。

**各務原市 市長公室 まちづくり推進課**

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 TEL:058-383-1997

E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

当報告集は  
ウェブページからも  
ご覧いただけます。



※掲載してある内容は、団体から提出された実施報告書類や団体へのヒアリングおよび取材をもとに作成しました。

# 令和2年度交付事業

## スタート助成1年目 (NO. 1~2)

No	事業名	分野	団体名	ページ
1	日本語教室事業	国際協力	グローバルファミリー	3
2	各務原市に住む外国人児童と保護者へのゆるやかな教育支援事業	国際協力	国境なきレクリエーション	4

## まちづくり助成2年目 (NO. 3~4)

No	事業名	分野	団体名	ページ
3	防犯パトロール活動事業	地域安全	清住町ふるさと創生会	5
4	鵜沼山崎町伝統文化の継承と地域住民の連携強化事業	文化振興 まちづくりの推進	山崎区屋形保存会	6

令和2年度事業は、当初、【スタート助成】1年目3事業、2年目4事業、【まちづくり助成】1年目2事業、2年目4事業(計13事業)が採択されましたが、感染症拡大防止の観点から9事業が廃止されました。

# 各務原市まちづくり活動助成金

各務原市は、市民の皆さまがまちづくりの主役としてご活躍していただくことで「市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくり」の実現を目指しています。

こんな場所が  
あったらいいな

困っている人の  
力になりたい!



この地域課題に  
みんなで  
取り組みたい

いまの活動を  
もっと広く  
役立てたい!

## 各務原市まちづくり活動助成金とは

この助成では、市民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題解決をする「市民によるまちづくり活動」の促進とNPOや市民活動団体の成長を目的に団体が行う活動や事業に要する経費の一部を、予算の範囲内で助成するものです。

まちづくり活動とは・・・

まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその成果を実感できます。

## まちづくり活動助成金の種類・条件等

助成実施期間		助成対象年度 4月1日から3月31日まで			
助成金種類		スタート助成金		まちづくり助成金	
		■設立後3年未満の市民活動団体 ■団体の設立及び自立を目指す		■設立後3年以上の市民活動団体 ■課題解決する団体への更なる成長を目指す	
		1年目	2年目	1年目	2年目
助成金額	助成率①	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内
	限度額②	100,000円	50,000円	300,000円	150,000円
	持出し額③	(総事業費)-(事業実施に伴い得られる国・県補助金、利用料金、その他収入合計)			
	①～③の金額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)				
審査	書類	○	○	○	○
	公開プレゼンテーション			○	
報告	公開報告会	○		○	
	実施報告書類	○	○	○	○

- 申請は、年度内に1団体1事業1回まで、同一事業での申請は2年度(回)までです。
- この助成は2年目の交付を保証するものではありません。2年目の交付を希望する場合、再度申請が必要です。
- 当該助成事業の終了した年度の翌年度は、別事業であってもまちづくり助成金の申請はできません。

## 【参考】令和3年度のまちづくり活動助成スケジュール

まちづくり活動助成金 応募・審査の流れ	
令和2年10月	助成金説明会
令和2年12月	応募書類受付
令和3年2～3月	書類審査
令和3年3月	公開プレゼンテーション(発表は、まちづくり助成1年目のみ)
	採択・不採択通知

まちづくり活動助成金 申請・交付決定後の流れ	
令和3年4月	交付申請・交付決定・交付事業開始
令和3年11月	中間報告書類提出
令和4年1月	公開報告会
令和4年3月	実施報告書類提出 (提出締切日は事業によって異なりますのでご確認ください)

※助成金説明会・応募書類受付時期は変更になる場合があります。翌年度の募集についてはご確認ください。

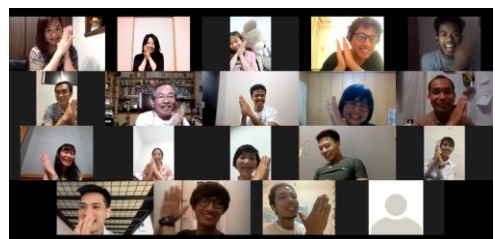
<b>NO.1</b>	団体名	<b>グローバルファミリー</b>		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 日本語教室事業			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾崎中央ふれあい会館を主として実施。</li> <li>・日本語の勉強会</li> <li>・市内在住の外国人との交流を目的とする。</li> </ul>			
事業費総額	94,244 円	助成金額	62,000 円	
主な経費内容	日本語教材、会場使用料、講師謝礼 チラシ、ポスター、横断幕、プリンターインク、コピー用紙、コピー代			
<p>●実施内容</p> <p>◎日本語教室について 尾崎中央ふれあい会館にて 10 回開催 (1 時間×6 回+3 時間×4 回 参加者延べ 20 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語初級編のテキストを教材として勉強。</li> <li>・基本的な挨拶や自己紹介。</li> <li>・テキスト以外に絵本も教材として活用した。</li> <li>・参加者の目的やレベルに応じ、日本語教員資格保有者に講師を依頼した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止の為、感染予防対策をしながら実施した。</li> </ul> <p>◎広報活動について チラシ 3,000 枚、ポスター30 枚、開催案内 100 部を制作。 市内公共施設 12 カ所、尾崎小学校・桜丘中学校、 近隣地域の飲食店や海外食材取扱店へ配布した。</p> <p>参加者に日本語教室開催を分かり易く表示する為、横断幕を制作。 開催日に尾崎中央ふれあい会館入り口と会場内に掲示した。</p> <p>◎活動の見直しについて 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置の為、会場が使えない期間 があったことも一因となり、参加者が 0 人となった時期があった為、団体 で方向性の話し合いを実施。協力いただける外国人を招き意見を聞いた。</p>				
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国やパキスタン国籍の方、延べ 20 人の利用があった。</li> <li>・参加者の体験談として、近所の人に挨拶をして笑顔を交わしたと聞き、挨拶の必要性について多少は伝えることができた。</li> <li>・2 名の参加者が地域の清掃活動に参加した。</li> <li>・参加者から日本語学習に対する具体的な需要(運転免許証の取得・日本語検定の合格等)を聞き、活動の需要を改めて確認した。</li> <li>・新たな外国人協力者が団体に加わることとなった。</li> <li>・活動を知った日本人がボランティアとして日本語教室に参加するようになった。</li> </ul>				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>外国人との交流を図り、共生の必要性和喜びを分かち合うことにより、互いの存在に関心を持ち、自治会活動をはじめとする様々な地域活動を円滑に進めることができる。相互の理解を深めることは、互いの利益を導くとともに、地域の安全や安心をもたらすことになる。</p>				



<b>NO.2</b>	団体名	<b>国境なきレクリエーション</b>	
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 各務原市に住む外国人児童と保護者へのゆるやかな教育支援事業		
事業概要	①外国人児童へ日本で生活する上で必要な日本語を教える。外国人保護者が困り事を気軽に相談できる場の提供。 ②外国人と日本人が遊び(レクリエーション)とお茶(ティータイム)を介して、やさしい日本語でコミュニケーションがとれる事を体験できる場の提供。		
事業費総額	75,980 円	助成金額	47,000 円
主な経費内容	ウェブ会議システム使用料、折り畳みデスク・チェア、ボードゲーム、会場使用料、レクリエーション材料、インクカートリッジ、コピー用紙、除菌シート、ハンドジェル		

●実施内容

■zoom を活用したオンラインおしゃべり会  
4/1～毎週 1 回(現在は毎週火曜日開催、  
3 月末時点で計 57 回実施。  
延べ参加人数 763 人)



トークテーマにそったおしゃべり・日本語の学びになるゲーム等

■7/5 音楽とゲームのイベント  
外国人が企画/運営/日本語で司会進行  
(参加人数 25 人)



- ・日本語を使いソーシャルディスタンスを確保できるゲーム  
マジカルバナナ/ワードウルフ
- ・外国人と日本人によるステージ(得意な音楽の発表)
- ・インドネシアのダンス(日本のラジオ体操のような国民的ダンス)



■11/28 公園で遊ぶ  
大人も子供も一緒に遊べるレクリエーション  
(参加人数 15 人)

- ・ソーシャルディスタンスを確保できるレクリエーション
- ・日本語が少ししかわからなくても  
一緒に体を動かして楽しめるレクリエーション  
新聞紙輪リレー/新聞紙傘玉入れ/ジェスチャー伝言ゲーム



●成果

新型コロナウイルス感染症の影響で、日本語を話す機会がなくなってしまった外国人に、日本語を使っておしゃべりを楽しむ場を提供することができた。毎週開催し続けたことで、外国人から、毎週会える場、なんでも話することができる場と思ってもらえた。ここで日本人と日本語で話すことに慣れ、自信をつけ、企画運営に携わるようになるなど、積極的に行動する姿を見ることができた。

●団体の活動目的・目標

各務原市に住む外国人と日本人の相互理解→相互支援→相互成長を目的・目標とする。

<b>NO.3</b>	団体名	<b>清住町ふるさと創生会</b>		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<2年目> 防犯パトロール活動事業			
事業概要	閑静で犯罪のない町を確保し、安心して暮らせる生活環境を創り出すため 防犯パトロール活動を行う。			
事業費総額	51,664 円	助成金額	12,000 円	
主な経費内容	のぼり、反射文字マグネット、インクカートリッジ、A4用紙、乾電池、ファイル、 ボランティア保険			

●実施内容

①防犯パトロール

毎月 第1日曜日 10:00~11:00/11:00~12:00(冬季)(計 12回)  
臨時 9月13日 20:00~21:00

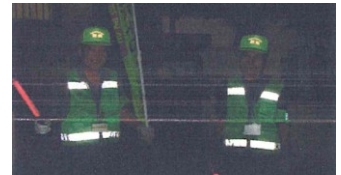
- ・町内の方や見知らぬ人への声掛け、  
子供の犯罪被害防止のため子供に声掛けを行った。
- ・パトロールの際には、防犯灯の故障や破損の有無も確認した。
- ・死角になる公園や池の周りのパトロールも実施  
(安全のためグループ長が携帯電話を携帯)。
- ・防犯パトロール実施後、報告書を記入し保管。

②登下校時の防犯パトロールと見守り活動

③年末夜警

12/26 20:00~21:00 参加者 5名(うち1名は町内の男性)  
12/28 20:00~21:00 参加者 10名(うち6名は自治会(合同夜警))  
12/29 20:00~21:00 参加者 7名(うち6名は自治会(合同夜警))  
12/30 20:00~21:00 参加者 7名(うち6名は自治会(合同夜警))

- ・年末防犯・防火パトロールを実施。  
ハンドマイクで「年末防犯・防火パトロールを実施しています」と呼びかけ、  
参加者全員で「戸締り用心、火の用心」と声を合わせ、拍子木を鳴らしながら  
町内を巡回した。



●成果

- ①町内での車上狙いや自転車盗み等の窃盗や婦女子への暴行事案等の発生は起こらなかった。
- ②昼間、見知らぬ人が町内の家を回っているところをよく見かけるが、高齢者にとっては不安を感じる。防犯パトロール中には積極的に町内の高齢者に「こんにちは」と声を掛けると「ご苦労さんです。」と笑顔で声を掛けられ、会員の姿を見て安心してもらった。

(地域社会に対しての効果)

- ①「防犯パトロール中」ののぼりをもって防犯パトロールを行ったことで、振り返って見てもらえたり、「ご苦労様です。」と言われたりした。地域住民の方に防犯意識を高めてもらったように思う。
- ②防犯パトロール途中での町内の方との挨拶や立ち話で、防犯活動に理解が得られた。また、町内の方とのコミュニケーションも図られ、団体活動の理解を得る機会にもなった。

●団体の活動目的・目標

清住町及び近隣地域の不安全箇所の整備を図り、安全で安心な生活環境を創り出すことを目的としたボランティア団体です。

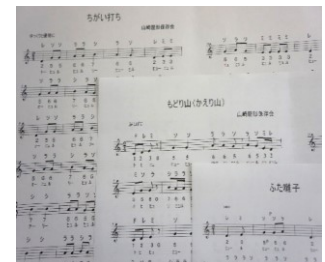
<b>NO.4</b>	団体名	<b>山崎区屋形保存会</b>		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<2年目> 鵜沼山崎町伝統文化の継承と地域住民の連携強化事業			
事業概要	古くから伝承されている「祭り囃子」の担い手を増やし、その活動を通じて鵜沼山崎町住民の連携を強化し絆を深める。			
事業費総額	374,565 円	助成金額	124,000 円	
主な経費内容	大太鼓の台作製、台車舵棒改修、小太鼓、笛、講師謝礼、事務消耗品			

●実施内容

- ・設備の充実……大太鼓の台 2 台作製  
台車舵棒の改修  
小太鼓購入1個、  
笛購入 10 本



- ・祭り囃子 6 楽曲の楽譜整備  
…楽譜がなく、「字ごと(チーリリ-ツチリリ…等)」で  
引き継がれていた楽曲を楽譜にして配布。



- ・祭り囃子の練習…令和元年度に助成金で作製したDVDを活用し各自宅で練習。  
保護者から練習の様子を写真で提供してもらい、共有。



●成果

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにあらゆる活動が中止となり、集合しての練習・体験会や演奏の発表は実施できませんでした。

予定していた成果は出せない状況ですが、いつでも再開できるように、予定通り設備を充実させました。

また、小太鼓の練習台を貸し出し、前年度作製した DVD や、新しく整備した楽譜を活用して、各自が自宅での練習を継続。この環境下でできる活動を模索しながら、活動を継続することができました。

●団体の活動目的・目標

山崎地区に古くから継承されている、郷土文化である「祭り囃子」の保存と、伝承活動を通して次世代に引き継いでいくことで、地域住民相互の親睦及び連帯感の向上を図り、地域社会に貢献することを目的とする。

# 令和3年度交付事業

スタート助成1年目 (NO. 1~3)			
No	事業名	分野	団体名
1	アンケートによる 住民の意向調査事業	まちづくりの推進	耀く大野町まちづくり委員会
2	男女共同参画に根付いた 住みやすい町づくり事業	男女共同参画社会の形成の促進 人権擁護	Tri-Angle
3	子育て・親力アップセミナー事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	スコール各務原
まちづくり助成1年目 (NO. 4~5)			
4	貞奴をキーワードにした きっかけづくり事業	文化振興 まちづくりの推進	貞奴フォーラム実行委員会
5	夏祭りプロジェクト事業	まちづくりの推進	雄飛地区まちづくり委員会

スタート助成2年目 (NO. 6~8)			
No	事業名	分野	団体名
6	世代間交流 ワークショップ事業	まちづくりの推進 芸術振興	リョクエンナーレ実行委員会
7	親子でLet'sアウトドア!事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	みっばらキッズ
8	災害時に備えた 炊き出し訓練事業	災害救援 地域安全	鵜沼南町自主防災組織